

生育中の てんさいにも 使えます！

中耕培土後

収穫60日前まで

収穫

直播栽培

使用時期 中耕培土後～収穫60日前まで使用できます。

移植

移植栽培

使用時期 移植後～収穫60日前まで使用できます。

これで
ツユクサ防除も
可能！



こんな
雑草にも。



メシバ



イヌビユ



ノビエ

ラッソー® 乳剤

®は日産化学(株)の登録商標

飼料用
とうもろこしにも
使えます。



特長

- 生育中のてんさいにも使用できます。
- 雑草発生前の土壌処理により、一年生雑草に高い防除効果を示します。

■適用作物と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当たり使用量		本剤及び アラクロールを 含む農薬の 総使用回数	使用方法	適用 地帯
				薬量	希釈 水量			
てんさい (移植栽培)	一年生雑草	移植後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで	全 土 壌	300～ 400㎖	100ℓ	3回以内	全面土壌散布	北海道
	一年生 イネ科雑草	中耕培土後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで					雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布	
てんさい (直播栽培)				中耕培土後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで				
とうもろこし 飼料用とうもろこし	一年生雑草	は種後出芽前		200～ 400㎖	1回	雑草茎葉散布 又は 全面土壌散布		
	一年生 イネ科雑草	生育期1～2葉期 (イネ科雑草) (2葉期まで)						
ばれいしょ	一年生雑草	植付後 (雑草発生前) 但し植付14日後まで	全 土 壌	200～ 400㎖	100ℓ	1回	全面土壌散布	北海道
なし		春～秋期 (雑草発生前) 但し収穫21日前まで		500～ 600㎖		2回以内		全 域
ぶどう		春～秋期 (雑草発生前) 但し収穫45日前まで						
だいず らっかせい えだまめ		は種後出芽前		300～ 600㎖		1回		
いんげんまめ				300～ 400㎖				
キャベツ		定植8日後まで		150～ 200㎖				
はくさい ほうれんそう だいこん かぶ のざわな		は種直後	壤土 ～ 埴土	150㎖				
こまつな				50～ 100㎖				
ブロッコリー		定植後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで	全 土 壌	150～ 200㎖	2回以内	全面土壌散布 又は 株間土壌散布		
いちご(親株床) いちご(子苗床) いちご(本圃) いちご(施設栽培)		植付後又は定植後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで						
はとむぎ		は種後出芽前		300～ 600㎖			1回	全面土壌散布

※この他、さとうきび(春植又は夏植)、ソルガム、かんしょ、桑、たばこに登録があります。

本剤は上記の使用時期内で、雑草及び直播き作物の出芽発生前の散布でご使用ください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

⚠ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 本剤は、雑草の発芽後ではほとんど効果がないので、雑草の発芽前に散布してください。
- タデ科、アカザ科などの広葉雑草には効果が劣るのでイネ科雑草優占圃場で使用してください。
- 発芽直後のきゅうり及びねぎに対しては、薬害を生じるおそれがあるので、付近にこれらの作物がある場合は薬液が飛散してからに十分注意して散布してください。
- はくさい、ほうれんそう、だいこん、かぶ、のざわなでは薬害を生じるおそれがあるので砂質土壌での使用はさけてください。
- こまつなに使用する場合
 - 1) 砂質土壌では薬害を生じるおそれがあるので使用はさけてください。
 - 2) 播種時の覆土は1～2cmとしてください。
 - 3) 薬剤処理は土壌表面が乾いた状態で行ってください。
 - 4) 薬剤散布後の過剰の灌水はさけてください。
- 有機物を多く含む土壌や粘質土では、効果が劣る場合があるので、所定範囲の高薬量で使用する事が望ましいです。
- いちごに使用する場合
 - 1) 親株床では植付後およびランナー発生時の2回、また本圃では定植後及びマルチ前の2回散布し、体系で処理すると有効です。
 - 2) 本圃では、なるべく株に薬液がかからないように注意し、暖地では株間処理した方が安全です。
 - 3) 半促成栽培では、株間処理をしてください。
- いんげんまめに使用する場合、金時類(白金時類は除く)、中長うずら類にのみ使用してください。
- はとむぎに使用する場合
 - 1) 砂質土壌や有機物の少ない土壌、過湿な土壌では薬害を生じるおそれがあるので使用はさけてください。
 - 2) 播種時の覆土は3cm以上としてください。
 - 3) 薬剤処理は土壌表面が乾いた状態で行ってください。
 - 4) 激しい降雨の予想される場合は使用しないでください。
- 本剤は自転車などに散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意してください。
- 本剤の散布や、調製に使用した器具類は、使用後水で十分洗浄してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

本資料は2019年1月現在の知見を基に作成されています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号

ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>

お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00～17:30 土日祝日除く)